



Vol.255

令和5年2月15日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

令和4年第3回臨時会を開催しました

(令和4年10月31日)

子育て世帯の生活支援及び若年層のマイナンバーカード普及を目的として18歳以下の子どもに対しマイナポイントを付与するための委託料の計上などの令和4年度土浦市一般会計補正予算(第10回)を原案どおり可決しました。(2ページ)

令和4年第4回定例会を開催しました

(令和4年12月6日から23日まで)

令和4年第4回定例会では、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定や令和4年度土浦市一般会計補正予算(第12回)、令和4年度土浦市駐車場事業特別会計補正予算(第2回)などを原案どおり可決しました。(2ページ)



森川あやこ講師

去る令和4年10月11日、土浦市議会議場において、令和4年度議員研修会を行いました。本年度は、「表現力アップ」「リーダーシップ」などに関する講座・講演・研修を全国各地で開催するOffice AIM代表、森川あやこ氏をお迎えして「愛されるリーダーのためのコミュニケーション」を演題として、研修を受講しました。

令和4年度議員研修会を開催しました

主な研修テーマ

- ・住民満足度向上!議会への信頼を高めるために!議員としての印象力・魅力アップ
- ・愛され信頼されるリーダーの姿勢、ふるまひ
- ・人の心をつかむ!愛される会話・対話
- ・地域課題を把握し地域の将来を見据えた地方議員へ議員として求められる表現力!伝えることから伝わることへ!
- ・地方議員として備えておくべき四つのチカラ
- ①先入観で判断せず「気づく力」
- ②住民に信頼される印象
- ③住民の心や状況に寄り添う聴き方
- ④住民にわかりやすく伝える力

目次

●表紙	1
●令和4年第3回臨時会の結果	2
●令和4年第4回定例会の結果	2
●一般質問	
奥谷崇・下村壽郎・篠塚昌毅・柏村忠志	3
矢口勝雄・海老原一郎・久松猛・吉田千鶴子	4
平石勝司・鈴木一彦・勝田達也・目黒英一	5
●【特集】令和5年会派の主張	
「私たちはこの方針で活動します」	6~7
●令和5年第1回定例会(3月)の日程(予定)	8
●編集後記	8

<インターネットで市議会の模様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

<議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

- 土浦市立図書館
 - 各中学校区の地区公民館
 - 支所・出張所(都和・南・上大津・新治・神立)
- ※最新となる会議録(R4年第4回)は、2月下旬に閲覧が可能となります。



第3回土浦市議会臨時会（10月31日）の結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	4.10.31	4.10.31	原案可決
報告第24号	専決処分の承認について (令和4年度土浦市一般会計補正予算(第9回))	4.10.31	4.10.31	承認
報告第25号	専決処分の報告について (和解について)	4.10.31	4.10.31	報告

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
報告第26号	専決処分の報告について (和解について)	4.10.31	4.10.31	報告
議案第73号	令和4年度土浦市一般会計補正予算(第10回)	4.10.31	4.10.31	原案可決

第4回土浦市議会定例会（12月6日から23日まで）の結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	4.12.6	4.12.6	原案可決
受理番号9	土浦市内就学前施設ならびに小中学校におけるフッ化物洗口に関する請願書	4.12.6	4.12.23	採択
受理番号10	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	4.12.6	4.12.23	不採択
受理番号11	国道354号線上的なおつ野団地入口の交差点に関する陳情書	4.12.6	4.12.23	採択
報告第27号	専決処分の承認について (令和4年度土浦市一般会計補正予算(第11回))	4.12.6	4.12.6	承認
報告第28号	専決処分の報告について (和解について)	4.12.6	4.12.6	報告
報告第29号	専決処分の報告について (和解について)	4.12.6	4.12.6	報告
議案第74号	公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第75号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第76号	土浦市職員の給与に関する条例等の一部改正について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第77号	土浦市職員の修学部分休業及び高齢者部分休業に関する条例の一部改正について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第78号	土浦市立学校の設置及び管理に関する条例及び土浦市放課後児童クラブ条例の一部改正について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第79号	土浦市新治運動公園条例の一部改正について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第80号	土浦市高齢者住宅整備資金貸付条例の廃止について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第81号	令和4年度土浦市一般会計補正予算(第12回)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第82号	令和4年度土浦市駐車場事業特別会計補正予算(第2回)	4.12.6	4.12.23	原案可決

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第83号	令和4年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第84号	令和4年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第85号	令和4年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第2回)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第86号	令和4年度土浦市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第87号	令和4年度土浦市下水道事業会計補正予算(第1回)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第88号	令和4年度土浦市水道事業会計補正予算(第1回)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第89号	土浦市駐車場の指定管理者の指定について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第90号	神立小学校屋内運動場及び特別教室棟長寿命化改良建築主体工事請負変更契約の締結について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第91号	財産の取得について (土浦消防署配置高規格救急自動車購入)	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第92号	訴えの提起について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第93号	訴えの提起について	4.12.6	4.12.23	原案可決
議案第94号	令和4年度土浦市一般会計補正予算(第13回)	4.12.23	4.12.23	原案可決
議案第95号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	4.12.23	4.12.23	原案同意
	発言の取消しについて	4.12.23	4.12.23	許可
	閉会中の事務調査について	4.12.23	4.12.23	原案可決

電子採決の結果

反対のあった議案は、電子採決により採決を行います。本定例会では、下記の議案について反対があったため、電子採決を行いました。

件名	議員名	目黒	平石	吉田	福田	田子	久松	奥谷	矢口	勝田	塚原	島岡	今野	下村	鈴木	小坂	篠塚	海老原	柳澤	矢口	吉田	寺内	柏村	内田	賛	反	採決結果
		英一	勝司	千鶴子	一夫	優奈	猛	崇	勝雄	達也	圭二	宏明	貴子	壽郎	一彦	博	昌毅	一郎	明	清	博史	充	忠志	卓男	成	対	
議案第90号	神立小学校屋内運動場及び特別教室棟長寿命化改良建築主体工事請負変更契約の締結について	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	19	1	原案可決

賛成…○ 反対…× ※福田一夫議員、田子優奈議員は欠席、議長(小坂 博)は、採決に加わりません。

請願・陳情議決結果

受理番号	件名	上程年月日	議決年月日	結果
受理番号9	土浦市内就学前施設ならびに小中学校におけるフッ化物洗口に関する請願書	4.12.6	4.12.23	採択
受理番号10	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	4.12.6	4.12.23	不採択
受理番号11	国道354号線上的なおつ野団地入口の交差点に関する陳情書	4.12.6	4.12.23	採択



今定例会では、表のとおり、請願1件、陳情1件が採択となり、陳情1件が不採択となりました。

請願・陳情の結果

一般質問



奥谷 崇
〈一括質問〉

本市におけるカスタマーハラスメントの現状と対策について伺います。

- (1) 令和3年第1回定例会において、カスタマーハラスメントについて質問したが、その後の本市の取組み内容について商業、小売業、飲食業等を所管する商工観光課から市内の各業界団体への周知は行われているのか、現在の状況と今後の方針について
- (2) 行政窓口におけるカスタマーハラスメントも多くなっていると思われるが、職員に対するカスタマーハラスメントの実態把握はできているのか。また、対策マニュアルは作成されているのか。
- (3) 本市職員へのフォロー、研修の有無、警察OBの採用の有無について
- (4) 不当要求行為に対する条例や規則はあるか。また、不当要求行為への対応実績や提訴の実績はあるか。
- (5)

A 市民生活部長

- (1) 若年層の市民に対しては、消費者の権利と責任が明確に示されている副読本を配り、早くから消費行動が社会に与える影響を自覚できるように、消費者教育を実施しています。一般の成人向けとしては、消費生活センター主催で年6回開催のくらしのセミナー講座の中で、悪質クレーマーにならぬように自分の意見を言える正しい賢い消費者知識の醸成に努めています。
- (2) 茨城労働局等と連携しながら、カスタマーハラスメントを含むハラスメントのない職場づくりの推進に向け、職場のハラスメント撲滅月間、令和4年度からのパワハラ対策の義務化などの内容について、市のホームページなどにより広報に努めています。

総務部長

- (3) カスタマーハラスメントとしての実態は正確には把握しておりませんが、無理な要求や暴言を受ける事例を把握しています。平成30年に策定したハラスメント防止に関する指針において、ハラスメントが生じた際の対応マニュアルなどを規定しています。
- (4) 困難なクレームには組織として対応することが基本であり、管理監督職による適切な判断、指示が不可欠です。顧問弁護士と今年度から採用した法務専門官には、法的な側面からの相談支援を行っていただき、今年度から茨城県警OBの方にもリスクアセスメントとして職員の相談を受けていただくなど、職員へのフォローを行っています。
- (5) 土浦市不当要求行為等対策要綱を制定しています。提訴は、現在まで対応実績はありません。

その他の質問

○市内のAED設置状況について

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、一部の要旨を掲載しています。今定例会では、12名の議員が一般質問を行いました。



下村 寿郎
〈一括質問〉

児童遊戯施設等の整備について伺います。

- (1) 子育て支援機能である児童遊戯施設について、市長の所見を伺います。
- (2) 市内の児童遊戯施設整備の現状について
- (3) 新たな児童遊戯施設整備の具体的な計画はあるか

A 安藤市長

- (1) 本市における子供の遊び場としては、子育て支援施設になるかと思えます。本市の子育て支援施設は、これまで子供や子育て世帯の事情や時代のニーズに合わせて順次整備を進めて現在に至っています。本市の子育て支援施設は、各地域に分散して整備しており、市民にとって身近で気軽に遊びに行きやすい施設であると考えていることから、引き続き既存の施設のさらなる利便性の向上と施設の利用を通じた子供や子育て世帯の満足度の向上に努めてまいります。
- (2) 児童遊戯施設について、本市では児童福祉法に定められている地域子育て支援拠点となる施設は、児童館、地域子育て支援センター、子育て交流サロンです。それ以外の施設としては、法的な設置基準はありませんが、総合福祉会館のあるウララIIの8階に子どもランドがあります。このように市内には児童遊戯施設として10施設を整備しており、それぞれの施設の特徴を生かした事業を実施しています。
- (3) 第2期土浦市子ども子育て支援事業計画、2020つちうらこどもプランを策定した際の市民アンケートでは、放課後における居場所のニーズの高さから、地域の社会資源や人材を活用した段階的な子供の居場所づくりが求められており、さらに近年の気候変動や防犯上の観点からも、子供の居場所の充実については喫緊の課題であると考えます。

A 子ども未来部長

- (1) 子育て支援機能である児童遊戯施設について、市長の所見を伺います。
- (2) 市内の児童遊戯施設整備の現状について
- (3) 新たな児童遊戯施設整備の具体的な計画はあるか

A 再質問

子どもランドを利用する際の駐車場料金を無償化できないか伺います。

A 子ども未来部長

屋内遊戯施設の需要が高まっていることから、交通手段や利用時間など、利用者の状況を調査し検討してまいります。

その他の質問

○沼沼公園の遊具の修繕または更新について



篠塚 昌毅
〈一括質問〉

本市における不登校児童の実態と対策について伺います。

- (1) 本市の不登校児童生徒数の実態と課題について
- (2) 不登校問題に対する本市の対策について
- (3) 生徒と保護者に対する心のケアについて

A 入野教育長

- (1) 本市の実態について全国と同様に増加傾向が続き、令和2年度調査と比較すると、小学校では51人、中学校では100人増加しており、極めて深刻な状況となっております。学校に居場所を求められない児童生徒が増加傾向にあり、一部の子供たちに自尊感情の低下が見られることや、学校の家庭教育への関わり方などが課題として挙げられます。
- (2) 各学校では、不登校児童生徒の家庭環境の把握のために児童生徒理解支援シート、アセスメントシートを活用した実態把握を行っており、学校内のケース会議でチームによる多面的な支援、個に応じた対応を講じているところです。
- (3) メンタルヘルスに係る教育の実施やSNSを活用した相談体制を構築として、GIGAスクール端末によるオンラインのつちまる相談室を開設しました。また、スクールカウンセラーを各中学校区に配置して、全ての学校の児童生徒や保護者がカウンセリングを受けられる環境を整えています。

A 再質問

長期欠席になる前の兆候を発見し、指導するシステムづくりを実施してはどうか。また、SNSを活用した子供、保護者が相談できるLINE相談窓口を設置すべきと考えるがいかがか。

A 再質問

県の教育委員会の基準で学校の教育相談などケース会議に諮りまして、その対策を個別事情において対応しています。LINEは、保護者の方々にとって手軽に活用できるアプリですので、LINEの活用については検討したいと思います。

その他の質問

○市が管理している市営住宅の今後について
○老人福祉センター湖畔荘の今後について



柏村 忠志
〈一問一答〉

穴塚大池地域に「穴塚大池公園(仮称)」を創るための課題について伺います。

- (1) 買収金額・面積について
- (2) 定期借地権を活用する場合の「費用対効果」について
- (3) 穴塚大池周辺地区開発地権者の人数について
- (4) 穴塚大池水量・水質の変化について(1987～1991年及び2017～2021年)
- (5) 雑木林、竹林、水田、畑それぞれの面積について(1987～1991年及び2017～2021年)

A 都市政策部長

- (1,2) 穴塚大池周辺地区については、現在の第9次総合計画におきましては、保全と開発の両論での方針を示しています。先行事例として近隣で借地方式を採用してございます牛久自然観察の森のような想定をする場合、どの場所がよく、どれくらいの面積が必要か、動線はどうしたら良いのかといった整理の先に、具体的な数値にいたるものと考えています。
- (3) 穴塚大池周辺地区開発地権者の人数でございしますが、当時の開発想定エリア全体における地権者数については、今年度当初におきまして約400名となっております。
- (4) 水量は、茨城県農業用ため池データベースで3万9,100立方メートルとなっており、これまで池の形状に変化はないことから、水量についても変化はないものと考えています。水質については、市では実際に水質検査を行っておりませんが、農業に適した水質であると思われれます。
- (5) 一般的な穴塚大池地区の森林では、航空写真などを基に目視で穴塚大池周辺に森林が構成されている地域を穴塚大池地域の森林面積とすると、現況約62ヘクタールで、その地域の水田と畑の面積として約17ヘクタールです。一方、35年前の森林の面積は、おおむね現況と同様と考えられ、水田、畑の面積は、農地に関する資料や地元への聞き取りから推計すると、数十年前には田畑は4～5ヘクタールほどあったものと考えられ、現況と比較すると耕作放棄などで3～4ヘクタールほど減少しているものと考えられます。

A 市民生活部長

- (1) 買収金額・面積について
- (2) 定期借地権を活用する場合の「費用対効果」について
- (3) 穴塚大池周辺地区開発地権者の人数について
- (4) 穴塚大池水量・水質の変化について(1987～1991年及び2017～2021年)
- (5) 雑木林、竹林、水田、畑それぞれの面積について(1987～1991年及び2017～2021年)

A 産業経済部長

- (1) 買収金額・面積について
- (2) 定期借地権を活用する場合の「費用対効果」について
- (3) 穴塚大池周辺地区開発地権者の人数について
- (4) 穴塚大池水量・水質の変化について(1987～1991年及び2017～2021年)
- (5) 雑木林、竹林、水田、畑それぞれの面積について(1987～1991年及び2017～2021年)

その他の質問

○土浦市内の不登校児童生徒について
○国際部及び「男女共同参画推進部(仮称)」新設について



矢口勝雄 <一括質問>

女性消防団の活躍について

- (1) 土浦市消防団において、女性消防団設置の経緯を伺います。
(2) 女性消防団のこれまでの活動内容と現状の人員等を伺います。
(3) 女性団員の入団は、団員不足解消につながるかと期待するところだが、更なる採用活動はどのように行っていくのか。
(4) 消防団組織の中で今後どのような役割を担っていくのか。また組織の中での位置付けはどのようになるのか。

消防団

- (1) 消防団の活性化を図ることを目的として、土浦市消防団女性消防部を平成21年4月に4名で発足しました。令和4年4月1日現在、18名となっております。全国的にも消防団員数は年々減少している中、女性消防団員は増加傾向となっております。
(2) 主な活動として、応急手当の普及啓発活動があり、救急講習を小中学生に対し実施しております。また、平成28年4月に発足した茨城県内初のラップパ隊には、現在多くの女性消防団員が在籍しています。
(3) 土浦市ホームページ利用での募集や、土浦市公式LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用し、今後は積極的に募集していく予定です。
(4) 市民に対する防火・防災教育の普及啓発活動、具体的には地域で行う自主防災訓練などに参加して、身近なものでつくれる防災グッズの作製方法の指導や展示や、災害時に地域防災サポーターと協力しながら、避難所運営の支援活動などが挙げられます。

再質問

女性の活躍について市長の所見を伺います。

安藤市長

土浦の女性消防団は全国でも先駆けていますし、先駆者として、私たちも非常にすばらしい取組みだと自負しております。これからの女性消防団の果たす役割は、大いに期待するところですので、多くの方に女性消防団に入っていただいで、活躍していただけたらと思います。

その他の質問

- 国道354号線下高津地内の樹木伐採について
○市の所有施設における省エネ設備導入について



海老原一郎 <一括質問>

土浦市の花火について

- (1) 第91回土浦全国花火競技大会について
① 今回の新しい取り組み(チケット販売方法、椅子席、花火鑑賞講座など)について
② 大会の総括について
(2) 仮称「土浦花火ミュージアム(花火資料館)」の新設について

産業経済部長

(1) チケット販売方法につきましては、コロナ禍ということもあり、これまでの対面抽選販売方法を見直して、全てインターネットを利用した抽選販売方法に変更しました。椅子席については、今回からコロナ対策として、来場者の情報の把握と、間隔を取るために、これまで一般開放していた無料観覧エリア全体を有料の椅子席に変更させていただいたところ。実行委員会が準備する観覧エリアは、全て有料となりましたが、コロナの感染対策や雑踏に対する危険対策を十分に行えたものと考えています。
(2) 鑑賞講座は、市民の方を対象に、より土浦の花火を知っていただくための企画で、土浦の花火の歴史なども盛り込み、競技会としての花火の鑑賞のポイントなど、さらなる情報発信を行いました。

安藤市長

(2) 議員ご提案の(仮称)土浦花火ミュージアム(花火資料館)については、私も大仙市の花火資料館を見学しております。同じ内閣総理大臣賞が授与される大曲の花火のすばらしい資料館であり、花火のPRの場としてこうした施設も大変すばらしいと感じております。本市としては、こうした他市の事例も参考にしながら、花火ミュージアム施設を含め、効果的なPRを十分に検証してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

再質問

土浦の花火をさらに知ってもらうため、新たな花火グッズを開発してはどうか伺います。

産業経済部長

2年間大会が中止となっていたために、現在はグッズの在庫のみ販売していますが、今後は新商品開発の準備を進めてまいりたいと考えています。



久松猛 <一問一答>

神立駅へのエスカレーターの設置について伺います。加齢性難聴者の補聴器購入への補助について伺います。

都市政策部長

エスカレーターの設置につきましても検討を行っておりますが、現在工事を行っている駅西口広場や、既に整備が済んでいる駅東口広場のレイアウト、維持管理を含めた建設コストを総合的に勘案して、大型エレベーターの設置に至ったものです。エスカレーター設置に関しまして、技術的な課題などの課題もありますので、検証を行いつつ、来年度完成予定の駅西口広場や、駅自由通路の今後の利用状況を十分注視しつつ、エスカレーター設置の検討をまいりたいと考えております。

再質問

設置することを決めていて時期などを検討するということか、それとも設置そのものについて基本的な考え方をこれから検討するということか。

再質問

将来的にはエスカレーターの設置については、現時点の技術的な検証や事業費がどれくらいかかるか、また、かすみがうら市との協議など、将来の神立駅の姿を見据えながら検討してまいりたいと考えています。

安藤市長

令和3年第1回定例会では、田子議員から同様の一般質問があり、国の研究結果の結果を踏まえ、市の対応を検討していくと答弁をいたしました。現在、国から研究結果の報告はなされておませんが、担当部署に対し、市独自の補助ができないか指示をしています。

再質問

どのような条件で実施可能だと考えますか。

内容につきまして、加齢性難聴者の方が広く利用できる制度となるようにと指示しています。

再質問

実施するという市長の意向が示されたというふうに理解してよろしいですか。

そのように認識していただいで結構です。

その他の質問

- つちまるバスの運行について
○LPGを活用した小中学校体育館への空調設備の備設置について



吉田千鶴子 <一括質問>

「子どもの幸せを最優先する社会」をめざして安藤市長の「子育てを応援したい!」との熱き想いを伺います。

- (1) 「伴走型相談支援」とは、具体的にどのような支援となるのか伺います。
(2) 「経済的支援」の「出産・子育て応援交付金」については具体的にどのような支援となるのか伺います。これらの事業内容を受けて本市の考え、取組み、タイムスケジュールについて伺います。
(3) 「経済的支援」の「出産・子育て応援交付金」については具体的にどのような支援となるのか伺います。
(4) これらの事業内容を受けて本市の考え、取組み、タイムスケジュールについて伺います。

安藤市長

(1) まずは多様化、高度化する保育、教育ニーズに対応することともに、子供施策を中心に捉えた子供真ん中社会の実現に向け、国や県をはじめ、関係機関と一丸となって、未来を担う子供たちの権利が守られ、健やかに成長できるように、子供の視点に立った子育て支援を推し進めてまいります。

いづも未来部長

(2) 子育て世帯包括支援センター等の保健師などが妊娠届出を提出した全ての妊産婦を対象に、悩みや不安が解消できるよう、出産や育児の見通しを立てるための面談を行うものです。

(3) 妊娠届出後に妊婦一人当たり5万円相当の出産応援ギフトを、出生届出後に新生児一人当たり5万円相当の子育て応援ギフトを支給するものです。

(4) 本市では令和3年度の妊娠届出者数、出生数の実績から、事業の対象者数を延べ年間1,800人分と見込み、既存の事業を活用し、実施を考えています。伴走型相談支援センターにおいて妊娠から子育て期の切れ目ない支援を行っており、その際に経済的支援の出産・子育て応援ギフトの申請を受け付けて支給します。面談は、対面だけでなく、顔の見える関係づくりができるようオンライン面談にも対応できる体制を整備します。さらに、出産・子育て応援ギフトの支給形態は、可能な限り速やかに給付できるように、現金給付を検討します。これら事業の開始時期は、今月中に国から示される実施要項や詳細を受け、できるだけ早い時期に進めてまいります。

その他の質問

- HPVワクチン・9価HPVワクチンの定期接種化対応について



平石勝司 <一括質問>

Q1

医療や介護、教育、障がい福祉、住まいなど人間が生きていくうえで必要不可欠な基本的サービスを原則として無償化し、「弱者を助ける制度」から「弱者を生まない社会」へ福祉の裾野を大きく広げるベーシックサービスについて認識を伺います。

Q2

暮らしや課題に取り組み、幸福や健康といったウェルビーイングを高めるべく、人びとやさまざまな構造に働きかけるソーシャルワークについて、本市では制度の狭間に陥ることなく誰もがサービスを受けられる仕組みがあるか伺います。

A1

【安藤市長】ベーシックサービスの導入につきましては、多額の財源が必要になることから、国において、このような社会の実現に向け、社会保障全体の検討を進め、財源確保に関わる議論がなされるべきと考えます。

A2

【保健福祉部長】本市におきましては、茨城県内の各自治体に先駆けまして、土浦型地域包括ケアシステム、いわゆるふれあいネットワークを実施しておりますが、本市のふれあいネットワークの機能を今後も強化継続していくために、国が地域生活課題に資する包括的な支援体制として創設した重層的支援体制整備事業への移行準備をしております。

Q

【再質問】教育の観点からの本市のソーシャルワークについて伺います。

A

【入野教育長】県教育委員会の事業であるスクールソーシャルワーカー活用事業を適用して、社会福祉等の専門的見地を有するスクールソーシャルワーカーの派遣を要請し、不登校児童生徒等の対応を図るケースなどがあります。



鈴木一彦 <一問一答>

Q

「市長はこの3年間何もしていない。何をやりたのか見えてこない」という市民の意見についての見解を伺います。

A

【安藤市長】本市では、中心市街地活性化基本計画を策定して各種事業を推進しており、川口二丁目地区を、市民に広く開放できる土地活用に向けた取組みを推進してまいりたいと考えています。

Q

【再質問】政策のPRもすべきであると考えますが、見解を伺います。

A

【入野教育長】広報紙などの紙媒体、公式ホームページ、ツイッターなどの各種SNSに加えて、市公式のYouTubeにおいて、全国に発信するなど、積極的にシテタイプロモーション活動を行っております。

その他の質問

○予算編成について



勝田達也 <一問一答>

Q

市立小・中学校、義務教育学校への学習支援、食事支援について伺います。

A

【入野教育長】本市では、小中学校において理科が全国平均を上回っており、近年の分析では国語、算数、数学は全国とおおよそ同程度の状況です。

Q

【子ども未来部長】現在、支援が必要とされる子供たちへの生活支援は各団体の自主的な活動に委ねられている状況ですが、各団体の特色を生かした生活支援や子供の居場所ができるよう進めてまいります。

A

【子ども未来部長】本市の子ども食堂、地域食堂は、現在、土浦社会福祉協議会以外で、地域団体の自主的運営により6か所の子ども食堂、地域食堂がそれぞれ1回公民館等で開催しております。

Q

【再質問】乙戸沼公園のインクルーシブ化について、現在の進捗状況を伺います。

A

【都市政策部長】遊具点検及び公園施設長寿命化計画に基づき、本年度、遊具更新の設計を実施しており、その中でインクルーシブの考えを取り入れた遊具を検討しながら、新年度更新工事を進めてまいります。

その他の質問

○霞ヶ浦流域下水道事務所埋め戻し用仮残土置き場の今後の予定について



目黒英一 <一括質問>

Q

インクルーシブ児童施設について合理的配慮、インクルーシブの観点で障がいのあるお子さんも利用しやすい屋内児童施設が必要だと思いますが、見解を伺います。

A

【子ども未来部長】障害のあるしにかかわらず、子供たちが一緒に遊ぶことができる遊具などを整備した施設であるインクルーシブ施設は、多様な子供に対応でき、現在注目されているものであると認識しております。

Q

【教育部長】廃校などの跡地を利用したリースペースがある全天候型のインクルーシブ施設は、今後の多様化する社会状況などから求められていくものだろうと認識しております。

A

【都市政策部長】遊具点検及び公園施設長寿命化計画に基づき、本年度、遊具更新の設計を実施しており、その中でインクルーシブの考えを取り入れた遊具を検討しながら、新年度更新工事を進めてまいります。

その他の質問

○障がい者政策の課題について

活動します」

会派とは、議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まった団体のことです。

※内容は、各会派から提出されたものを原文のままで掲載しております。表示順は会派に所属する議員数の降順で、会派に所属する議員は、会派代表者、期数の降順、年齢の降順で、丸数字は期数を表しています。

郁政クラブ

- ⑧ 卓男 昌毅 ④②②①
- ⑤ 清一郎 博明 也崇
- ⑤ 原一博 宏達
- ⑤ 矢口海老原 小島岡田勝奥
- 田塚村塚原口
- 内篠下塚原口

郁政クラブは11名の議員による会派で市議会の最大会派です。それぞれの議員が市内各地の現場を歩いて市民の皆様の声を聞いております。令和5年の会派活動方針を策定するにあたり、土浦市の発展と市民の安心安全な生活を図るうえで優先すべき課題、重要な課題を様々な角度から会派内で議論をいたしました。その結果、事業課題を市の各部分と項目を分類し活動方針といたしました。各項目は以下に掲載いたしました。

国・茨城県に対しては、国道6号土浦・牛久バイパスの未開通部分の早期開通。スマートICの早期の設置。おおよつ野付近の国道354号線の道路白線の補修及び轍の解消と車線の拡幅整備。新治土地改良区への桜川の浚渫土砂による土壌改良を行うこと（米から小麦等の畑地化）などの要望活動をするを市に提案してまいります。

【主な活動方針】

- ① 市長公室
- ・ 上天津地区公民館の建替え等を実施するための基本計画作成の実施
- ② 総務部
- ・ 期日前投票所の増設及び移動投票所の研究
- ・ 運転免許返納者への支援事業の拡充
- ・ 市内11か所の火の見櫓の市の予算での撤去
- ③ 市民生活部
- ・ 中学校地区公民館の施設利用者の利便性に配慮し、エ

- ・ レバーター設置
- ・ 燃料費、電気料金高騰による家計負担増を軽減するための太陽光パネル、LED照明など設備導入への補助
- ④ 保健福祉部
- ・ 带状疱疹ワクチン接種への補助
- ⑤ こども未来部
- ・ つちまる学習塾などの学習支援事業への参加児童の条件の緩和
- ・ 出生数増加のための補助
- ⑥ 産業経済部
- ・ 花火ミュージアム（まずは花火情報室）の新設
- ・ れんこんの全国へのPR活動強化、トップセールスの実施

市内空き店舗対策および若者への起業支援

⑦ 都市政策部

・ JR神立駅へのエスカレーター設置を土浦・かすみがうら土地画整理一部事務組合の解散前に行うこと

・ 水郷公園にキャンプ場を設置しサイクリングとコラボさせること

・ 市内へのドッグランの設置

・ 土浦ニューウェイ、高架道を活用し、JR土浦駅東口からTXつくば駅までの無人運転バスの実証実験等の実施

・ 木田余神立線の整備促進による神立停車場線への早期の接続

⑧ 建設部

・ 一級河川乙戸川改修に係る市道の橋梁架け替え

・ 中村南四丁目のゲリラ豪雨等の集中豪雨時に住宅地の浸水災害を防ぐために排水溝の清掃、整備や雨水一時貯留施設の整備

・ 市道右初22号線の道路改良整備の促進

⑨ 教育委員会

・ 就学前施設ならびに小中学校におけるフッ化物洗口事業の実施及びそれに伴う教職員負担を軽減するための予算措置

・ 上天津地区統合小学校の早期の整備

・ 小学生、中学生に自転車用ヘルメットの購入補助を実施すること

⑩ 消防

・ 女性消防団員の増員

公明党 土浦市議団

- ⑤ 吉田千鶴子 勝司
- ⑦ 一夫 英一
- ③ 福田 目黒

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの日常を大きく変化させました。今後は、ポストコロナ、ウィズコロナを見据えた新しい日常に即した政策が必要であると考えます。そして、コロナ収束を見据えた未来志向のまちづくりを進めるため、本市では令和4年3月、第9次土浦市総合計画を策定しました。

「誰ひとり取り残さない」SDGsの理念のもと、多様性と包摂性のある社会の実現に向け、市民の誰もが希望と安心を持つことができるよう、効果的な施策を迅速に実行していくことが何よりも重要であると考えます。

そこで昨年12月に公明党土浦市議団として、予算編成に向けて重点項目9項目を含み104項目の市民要望を市長に提出いたしました。私ども公明党土浦市議団は「小さな声を聞く力」をモットーに皆様の心に寄り添い「持続可能な社会の実現」を目指して今年も力を尽くしてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

① スマートインターチェンジの整備促進に向けて取り組むこと。

② 土浦れんこんのブランド化、消費拡大に向けて取り組むこと。

③ 学校体育館に空調設備の導入を図ること。

④ 带状疱疹ワクチンの接種について費用の助成を図ること。

⑤ 不登校の児童生徒に対してフリースクールやフリースペイスなどの居場所づくりに取り組むこと。

⑥ 「花火のまち・つちうら」を全国にPRするため花火カレンダーやお土産等の関連グッズの充実に取り組むこと。

⑦ ランドセルのカラーバリエーションの充実を図ること。

⑧ 「女性模擬議会」の開催を図ること。

⑨ 霞ヶ浦総合公園にキャンプができるエリアの設置、老朽化したレストハウス水郷の更新整備のためにパークPFIなど民間活力を導入し、さらに人が集まる魅力ある空間に向けて取り組むこと

⑩ 霞ヶ浦総合公園にキャンプができるエリアの設置、老朽化したレストハウス水郷の更新整備のためにパークPFIなど民間活力を導入し、さらに人が集まる魅力ある空間に向けて取り組むこと

- ① 中央立田線・県道土浦港線と市道1級18号線・荒川沖木田余線の早期4車線化
- ② 市民要望の道路改良工事の早期着工
- ③ 中心市街地活性化 中央地区（土浦市有地を含む）の再開発と中城地区の歴史的資産の有効活用
- ④ 土浦学園線へスマートインターチェンジを早期実現
- ⑤ 大岩田運動公園内にキャンプ施設を誘致
- ⑥ 川口二丁目の水辺の開発の推進
- ⑦ 乙戸市場の観光資源化（未利用床を活用した道の駅）
- ⑧ 小町の里の開発（道路整備等）
- ⑨ 小松坂下交差点の更なる安全対策（県への要望）
- ⑩ 男女共同参画推進
- ⑪ 街を花でいっぱいにする美化推進
- ⑫ 必要な情報を必要な時に市民の皆様へ届ける為の情報化推進
- ⑬ 色んな人の意見が反映できる多様な社会を推進

政新会

- ⑥ 寺内 充 貴子
- ⑥ 吉田 博史
- ② 今野

私たち政新会は、市民の皆さまの声を市政に届けることを第一義としています。その実現に向けては、現状認識・未来想定・財源構成などを基盤とした多角的な視野で臨んでいます。それらを考慮した上で「これからの土浦に必要なことは何か」を会派で話し合い、活動方針を決めています。

コロナ禍もすでに三年経ち、ウィズコロナの生活に向けた転換し始めています。大変だった時期は穏やかに回復期に向かっています。土浦市はリモートワークが定着したことと「首都圏に近い土浦・快適な自然環境」をアピールし移住の方も増えました。また、日本一の距離を誇るりんりんロードによる観光客増加、常磐道・圏央道など交通網の充実による企業誘致など、好条件が揃っています。これらを十分に活用しなければなりません。

そのためには土浦に来てくださる方たちが心地よく感じる街の美化や、観光資源のための水辺の開発、交通網の充実を図るための土浦学園線にスマートインターチェンジ設置など多岐にわたり市に提言してまいります。

① 中央立田線・県道土浦港線と市道1級18号線・荒川沖木田余線の早期4車線化

② 市民要望の道路改良工事の早期着工

③ 中心市街地活性化 中央地区（土浦市有地を含む）の再開発と中城地区の歴史的資産の有効活用

④ 土浦学園線へスマートインターチェンジを早期実現

⑤ 大岩田運動公園内にキャンプ施設を誘致

⑥ 川口二丁目の水辺の開発の推進

⑦ 乙戸市場の観光資源化（未利用床を活用した道の駅）

⑧ 小町の里の開発（道路整備等）

⑨ 小松坂下交差点の更なる安全対策（県への要望）

⑩ 男女共同参画推進

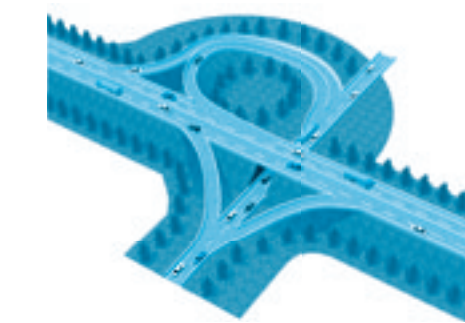
⑪ 街を花でいっぱいにする美化推進

⑫ 必要な情報を必要な時に市民の皆様へ届ける為の情報化推進

⑬ 色んな人の意見が反映できる多様な社会を推進

- ① 中央立田線・県道土浦港線と市道1級18号線・荒川沖木田余線の早期4車線化
- ② 市民要望の道路改良工事の早期着工
- ③ 中心市街地活性化 中央地区（土浦市有地を含む）の再開発と中城地区の歴史的資産の有効活用
- ④ 土浦学園線へスマートインターチェンジを早期実現
- ⑤ 大岩田運動公園内にキャンプ施設を誘致
- ⑥ 川口二丁目の水辺の開発の推進
- ⑦ 乙戸市場の観光資源化（未利用床を活用した道の駅）
- ⑧ 小町の里の開発（道路整備等）
- ⑨ 小松坂下交差点の更なる安全対策（県への要望）
- ⑩ 男女共同参画推進
- ⑪ 街を花でいっぱいにする美化推進
- ⑫ 必要な情報を必要な時に市民の皆様へ届ける為の情報化推進
- ⑬ 色んな人の意見が反映できる多様な社会を推進

【主な活動方針】



特集

令和5年 会派の主張

「私たちはこの方針で

令和5年の各会派の活動方針を紹介いたします。

日本共産党 土浦市議団

○久松 猛⑩ 田子 優奈①

い致します。

【主な活動方針】

- ① 高齢者福祉施設への入所者・職員に対するPCR検査の定期的な実施など新型コロナウイルス対策の一層の強化を求めます。
- ② 常名運動公園建設用地の用途変更を行い、都市公園として整備することを求めます。
- ③ コミュニティバスの運行拡大を求めます。
- ④ 高齢者の運転免許証自主返納者に対するサポート事業を一層充実させます。
- ⑤ 市営住宅条例の保証人の項目を削除し、緊急連絡先とすることを求めます。
- ⑥ ジェンダー平等をめざす施策の一層の充実を求めます。
- ⑦ 学校給食の地産地消を一層推進するとともに、学校給食費の無償化をめざします。
- ⑧ 水道料金の引き下げをめざします。
- ⑨ 神立駅改札口へのエスカレーター⑩の設置を進めます。
- ⑩ 補聴器購入補助制度の速やかな実現を進めます。
- ⑪ 救急救命講習会開催を更に広く充実させること。
- ⑫ 市道の白線表示が消えたり薄くなっている事例が少なくありません。更にきめ細かな補修を行うこと。
- ⑬ サイクリングの街土浦として一層の充実とPRを図ること。
- ⑭ 小町の館周辺の環境整備で一層の集客を図ること。
- ⑮ ヤングケアラーの実態把握と共に学校や行政からの支援を更にきめ細かなものにする。
- ⑯ 小中学校の体育館にエアコン設置を。
- ⑰ 小中学校トイレの洋式化を。

新風会

○柳澤 明⑤ 鈴木 一彦④

す。歯科については乳幼児、児童の虫歯予防、特にフッ化物洗口の推進に取り組んでいきます。

- ① 「子育てする街、土浦市」として市民が土浦に住みたくなるような施策を提言していきます。認定こども園の設置、学童保育への民間活力の導入等、子育て世帯が働きやすく、安心して子育てができる環境づくりを提案していきます。
- ② 医療の充実 土浦には産科医療が不足しています。医師会との連携を図り出産のしやすいような体制の整備に取り組んでいきます。
- ③ 市内の観光スポットであるラクスマリーナ、水郷公園、乙戸沼公園、小町の里等の案内看板や子どもたちが安心して遊べる遊具を充実させ、市内だけでなく市外から訪れる人たちがさらに利用しやすくなるように働きかけます。市内にある国、県、市指定文化財の有効活用を図り、また小町の里へ古民家を集約し、会津の大内宿のような観光地を作ることをご提案していきます。ラクスマリーナについては水上スポーツの拠点、サイクリングの拠点として宿泊を含めた観光の開発に取り組んでまいります。
- ④ 公共用地、公共施設の未利用地が増えています。様々な法律、条例の縛りがある公共用地跡地ですが、売却、利活用を含め幅広い視点で研究し、土浦市活性化の起爆剤として有効活用できるように提案していきます。
- ⑤ コロナ経済対策で企業やそこで働く人、さらに自営業者に対しても負担軽減等を提言していきます。コロナ経済対策として考えられるのは、協力金、補助金も重要ですが、どの部分で負担軽減できるか検討し、新年度に一つでも軽減できるような提案していきます。

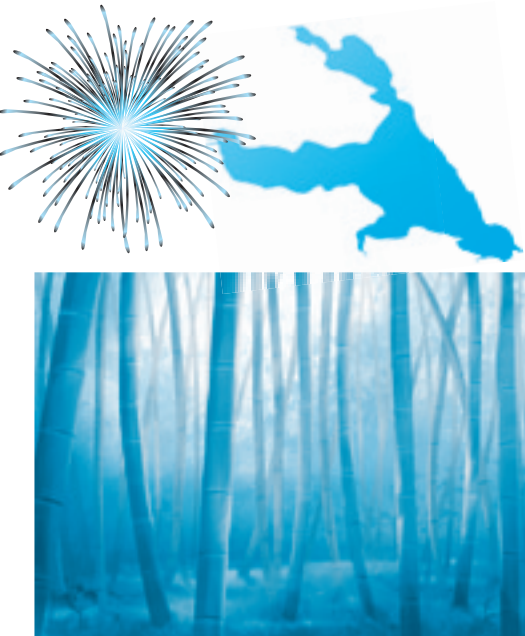


市民ネット21

○柏村忠志⑥

【主な活動方針】

- ① 土浦消防本部は、土浦市総務部防災危機管理課と合体し「消防庁」とする。消防庁責任者は、副市長が就任する。
- ② 穴塚地域の貝塚・古墳・般若寺の文化財を活かした「穴塚貝塚自然公園」（仮称）を樹立する。土地の買収は基本的に「借地方式」で行う。
- ③ 竹林の「第六次産業化」を図り、仕事をつくる。竹のチップ・粉末所の事業で家畜の飼料、作物の成長・促進及び竹炭・竹酢液の活用で医療・化粧品品の効用に活用するなど「産業化」を図り、若者などの仕事を創り出す。
- ④ 認知症患者の福祉・ケアを支援し、また、親族関係のケア従事者に対しても「事業者」並とみなし、介護保険会計の黒字分として支給できるように条例化を図る。
- ⑤ 第二次拡張用地として不要となっている「県霞ヶ浦浄化センター」の土地の「譲渡」を県に要望する。この小高い丘は、眼下に広がる四季折々の野鳥観察の場所として、また、近い将来「土浦全国花火競技大会」を開催する場所として検討する。
- ⑥ 国際部を設置する。霞ヶ浦大の湖沼のある東南アジア地域の都市と「姉妹都市」を結ぶ。
- ⑦ 霞ヶ浦を本来の「汽水湖」にもどし、ニホンウナギ・ヤマトシジミを復活させるための環境を整備する。
- ⑧ 茨城県の戦争遺跡（防空壕、軍事施設、米軍の攻撃跡地）などを保全し、子どもたちに公開・活用するよう、県教育委員会などに要請します。



令和5年第1回定例会（予定）

※最新情報は市議会ホームページに掲載

日	曜日	開議時間	
2/17	金		議会運営委員会・招集告示
18	土		
19	日		
20	月		代表質問・一般質問通告受付開始
21	火		代表質問・一般質問通告受付締め切り
22	水		
23	木		
24	金		請願・陳情受付締め切り
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	午前10時	本会議（招集日）
3/1	水		休会
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	午前10時	本会議（代表質問・一般質問）
7	火	午前10時	本会議（一般質問）
8	水	午前10時	本会議（一般質問・議案質疑）
9	木		休会（常任委員会）
10	金		
11	土		休会
12	日		
13	月		休会（常任委員会）
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		休会
19	日		
20	月		
21	火		
22	水	午前10時	

『議会史
土浦市議会
五十年のあゆみ』
の有償頒布

土浦市議会では「土浦市議会五十年のあゆみ」を有償で頒布いたします。

これは市制施行50周年の後、土浦市議会として初めて刊行した議会史で、市制施行から50年間にわたる市議会の活動記録が詳細にまとめられております。国内外の出来事なども年代ごとに掲載されており、当時の時代背景を回想するにも最適な1冊かと思えます。

また、別冊の写真集もセットとなっております。市が誕生する以前、明治時代からの土浦の発展の様子がうかがえる大変貴重な写真が約800枚も掲載されており、これを見ながらお子さんやお孫さんに土浦の歴史をお話しされるのも一興ではないでしょうか。

頒布冊数に限りがあり、先着希望者のみとなりますが、頒布価格と申込方法は、次のとおりです。

「頒布価格」1セット 3,000円

（発刊当時定価1万6,500円）

「申込方法」購入ご希望の方は、左記までご連絡ください。

「連絡先」土浦市議会事務局

☎（0296）11111
内2277



令和4年度議会報告会を動画により配信しています。

・新型コロナウイルス感染症の対策を検討し、令和4年度分の議会報告会につきましては、動画の配信により実施いたしましたので、ぜひ、ご視聴ください。

土浦市議会 議会報告会

インターネットで上記の字句で検索いただくか、右の二次元コードから市議会ホームページの議会報告会の項目をご覧ください。



【編集後記】

令和5年を迎え、土浦市議会は、引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を、迅速かつ的確に実現するため、本年も市民の皆様の健康を第一に、慎重な審議を行ってまいります。このような中、開かれた議会の実現のため、昨年12月から、オンラインでの動画配信という形で、令和4年度の議会の活動報告を紹介しております。オンラインでの動画配信もまた、コロナ禍における感染防止対策の中、新たな形として実現した議会報告会です。ぜひ、議会の活動報告をご覧くださいませようお願いします。

（委員長 塚原 圭二）

広報広聴委員会

委員長	塚原 圭二
副委員長	奥谷 崇
委員	福田 一夫
委員	柏村 忠志
委員	吉田千鶴子
委員	海老原一郎
委員	篠塚 昌毅
委員	平石 勝司
委員	下村 壽郎
委員	島岡 宏明